

小学部だより

筑波大学附属

桐が丘特別支援学校

小学部通信第8号

2015. 10. 30. 発行

いよいよ学習発表会です。毎年、舞台上での子どもたちの堂々とした発表に驚かされます。今年も、これまでどのようなことを学んできたのか、それをどのように発表するのか、とても楽しみです。きっと、自信に満ちあふれた姿がみられることでしょう。来校される皆様も、ぜひ子どもたちの輝く姿をご覧ください。



みんなを誘って…

下の写真は、小4学級、小3学級の昼休みの教室の様子です。他の学年の先輩や後輩、介助員さんなどに積極的に声をかけて観客を集め、落語や手品を披露したり、部屋を暗くして怪談話の読み聞かせをしたりしています。

企画、集客、演出などを自分たちで手がけ、様々な人を巻き込んでいく力はなかなかのものです。子どもたちの気持ちが外に向かい、自分の世界を広げていこうとしているのを感じます。

落語



怪談



筑波大学附属小学校 梅澤真一先生 出前授業（小6 社会科）

ペットボトルか缶か、どちらを買いますか。

10月15日に筑波大学附属小学校の梅澤真一先生が来校され、第6学年対象に社会科の授業をしてくださいました。

何かを判断、選択する際、そこには様々な価値観が反映されます。正解は1つではなく、その時々状況や条件によっても変わります。自分の考えをしっかりとつこと、他の人の考えや客観的な資料などを基に自分の考えを広げたり深めたりすること、自分のことだけでなく周りの人や社会全体のことも考えて判断することなど、これから社会で生きていくために必要な力の種を蒔いていただきました。

